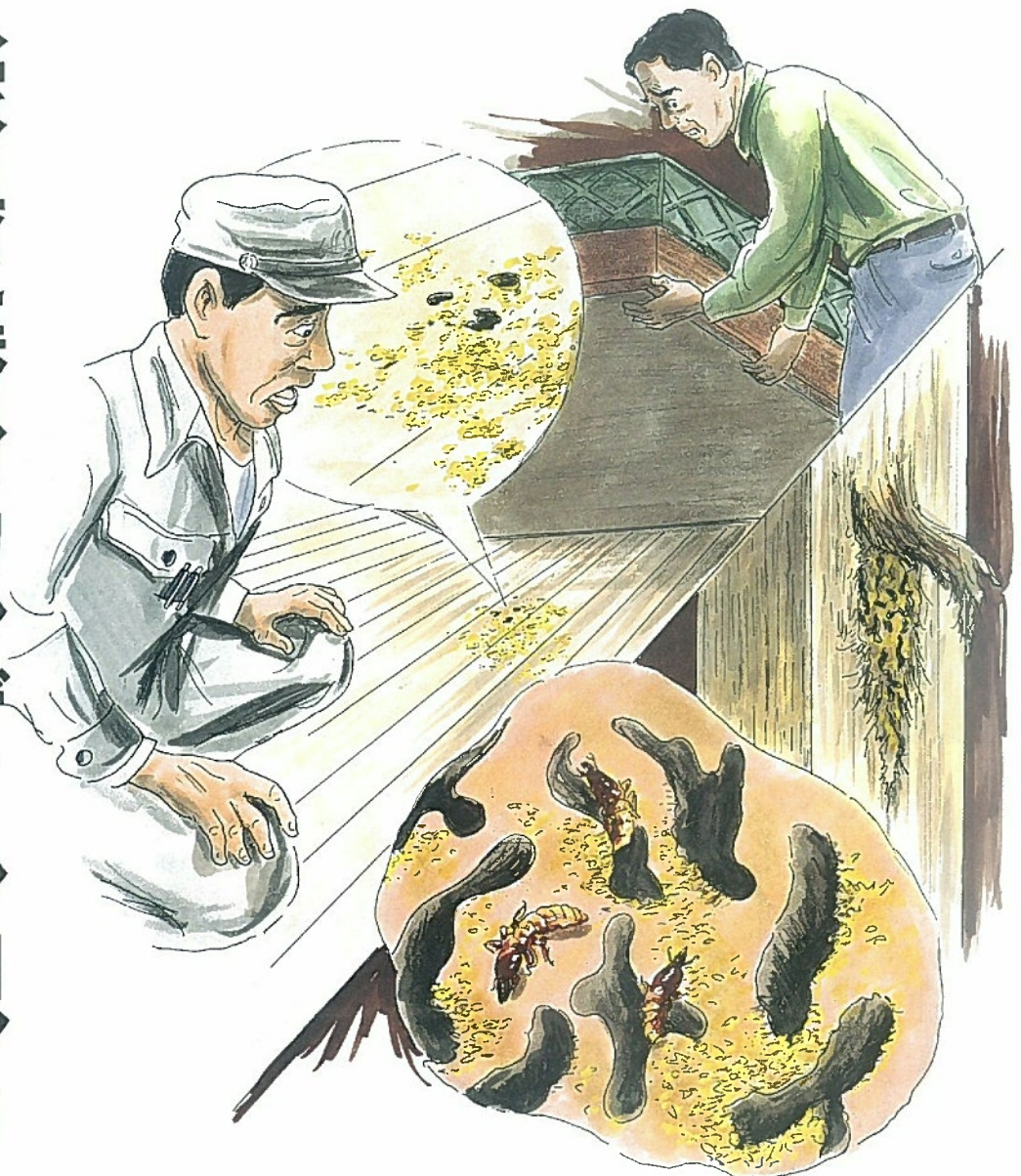


輸入家具に潜むカンザイシロアリ 床材を食い破り柱まで到達



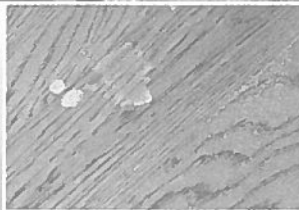
(イラスト：勝田登司夫)

事件の概要

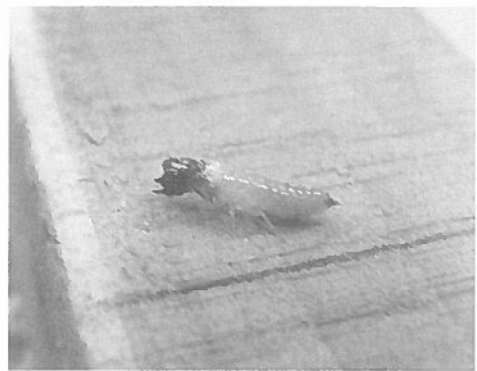
乾燥した木を好み、地中に巣を張らずに建物から建物へ直接飛び移り、あらゆる樹種を食うとされる外来種のシロアリによる被害が拡大している。輸入家具などに潜んでいたこの「カンザイシロアリ」による食害が、相次いで見つかっているのだ。ユーザーが米国ハワイ州のメーカーに特注したベッドの木材の中に潜んでいた例では、シロアリはフローリングを食い破り、横架材を伝って付近の柱にまで到達していた。日本の木造住宅は現在、このシロアリに対してほぼ無防備な状態にある(関連記事：本誌2008年10月号「住宅事件簿」)

輸入品の特注ベッドに潜んでいた

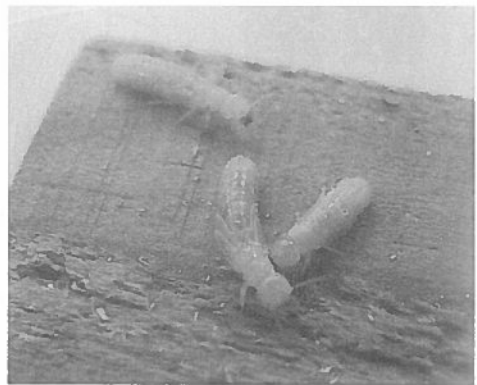
下がシロアリの潜んでいたベッド。ハワイ州のメーカーに特注したキングサイズだ。右はそのベッドの脚を下側から見た様子。食害痕がいくつも開いている。下は食害痕のあった脚の直下のフローリング。表面には潜り込んだ穴が開き、周囲にフンが散乱していた(写真:関東白蟻防除)



【ニシインドカンザイシロアリ】
カンザイシロアリの一種で、太平洋岸を中心として広範に生息する。日本では外来種とされる。沖縄などで見つかる「ダイコクシロアリ」に近い種で、これらの種の生息域は1月の平均気温が10℃以上に達する地域とされる(日本しろあり対策協会の資料に基づく)



現場で見つかったニシインドカンザイシロアリの兵蟻



同じ場所で見つかったニシインドカンザイシロアリの職蟻

このページ右上の写真は、「ニシインドカンザイシロアリ」という外来種だ。世界的に広範に見つかっているシロアリで、乾いた木を好むカンザイシロアリの一種。ユーザーが米国ハワイ州のメーカーに特注した木製ベッドに巣食っていた。

この食害では、シロアリがベッドの脚から木造住宅のフローリングを食い破った。さらに1.5m離れた柱からもこのシロアリが見つかった。ユーザーから依頼を受け、この食害を発見した関東白蟻防除社長の南山和也さんはこう話す。

「ユーザーに聞くと、6、7年前から、木粉のようなものがベッドからポロポロと落ちてきていたという。これがシロアリのフンだった。シロアリは徐々に繁殖し、何年もかけて床材を食い破って住宅側に移ったのではないか」

被害がどの程度まで広がっているかは、床や壁の仕上げ材をはがしてないのでよく分からない。ユーザーはこの部屋を模様替えすることにした。この3月からシロアリの巣穴への薬剤注入による駆除作業と、リフォーム工事に入る予定だ。

この現場で見つかったニシインドカンザイシロアリは、日本では奄美大島など温暖な地域しか「生息地」とはされてこなかった。だが発見された現場は東京都下だ。シロアリは何度も越冬し、屋内で食害域を広げた。春ごろには羽蟻も飛んでいたという。

「寒さに弱い」はずが

この他にも輸入建材からカンザイシロアリの仲間が見つかったという。深刻な被害を生み出しかねない事例もあった。首都圏を中心にホームセンターを展開する会社が輸入・販売したチーク製家具から、カンザイシロアリの一種である「ダイコクシロアリ」が見つかった例だ。ニシインドカンザイシロアリに近い種で、やはり「寒さに弱い」と思われてきたが、関東地方のユーザー宅の家具からはい出てきた。

住宅被害にまでつながったかは分からない。この会社は09年10月に商品の自主回収を決めた。3月現在、同社のホームページには「自主回収のお知らせ」が掲載されたままだ。

農林水産省植物防疫所に聞いた

ホームセンターで販売された家具にも潜入

「ホームセンター」で販売された家具へ
お詫びと自主回収のお知らせ

お客様各位

平井は、自社製品と類似の製品と誤り、誤りがありご迷惑をいたします。

この度、弊社が輸入した、**ダイコクシロアリ**被害防止剤入りで、
2008年8月21日～2008年10月31日の間に販売いたしました、
テーブル等の一部に被害が生じて、お詫びと自主回収させていただきます。

つきましては対象商品と自主回収し、被害の拡大を防止させていただきます。

ご購入頂いたお客様には誠に申し訳ございませんが、お詫びと自主回収
のお願いをさせていただきます。お詫び申し上げます。

お客様はご安心くださいとお願いいたしますことと、ご対応させていただきます。

弊社は誠に申し訳ございませんが、今後このような事故が生じないよう、
より一層の品質を向上してまいります。

何卒ご理解とご協力を賜いますようお願い申し上げます。

2009年10月21日
株式会社 平井



No. 1566772
テーブル型テーブル 130
19,800円



No. 1625785
チェア型チェア 20
1,980円



No. 1605726
テーブル型テーブル
19,800円



No. 1605802
テーブル型ハイコロン
4,980円



No. 1626115
テーブル型ハイコロン
19,800円

※各テーブルの脚裏面に使用した
薬剤の被害
防止にはご注意ください。

左は販売した輸入家具の自主回収を行っているホームセンターのホームページ。「不具合」とのみ記しているが、実際はダイコクシロアリによる食害だ。このホームセンターは東京都下のほか、埼玉、神奈川、長野、山梨各県に店舗を展開している。同社は取材に対し、「各店舗での掲示やホームページなどで告知に努めた」としている。

ところ、こうした輸入家具はそもそも「検疫」の対象になっていないという。「家具などは『高度な加工品』なので、現行法は病害虫をまん延させる可能性があるものとはみなしていない」と、同所の職員は話す。建材で検疫対象となるのは、丸太などの原材料だ。製品も対象外だ。

日本の木造住宅ではこれまで、

地中に巣を張ることが多い「土壌性」のシロアリに注目し、床下や地上1m以内の構造材での防除が行われてきた。日本中で見つかるヤマトシロアリや、西日本を中心に生息するイエシロアリなどがその対象だ。だが輸入家具が全盛の現在、従来からの対策だけでは済まない状況が迫っている。

本誌08年10月号では、「内陸に

探る

要するに

- 建物から建物に直接飛び移る「カンザイシロアリ」の被害が拡大している
- 輸入家具に潜んでいた例が相次いで発見された
- 「土壌性」以外のシロアリ防除も意識せざるを得なくなってきた

外来種対策が現実的に

広がる「最悪のシロアリ」という見出しで、北米を原産とする「アメリカカンザイシロアリ」の被害が、東京都内で広がっていることを報じた。今回の被害例は別の種で、しかも家具の中に潜んでいた。同様の食害は、日本中で発生する可能性がある。

住宅関連業界もカンザイシロアリ対策に動き出した。大手木材会社やメーカーなどで組織するNPO法人ホウ素系木材保存剤普及協会（理事長＝荒川民雄・ポロンテクノロジー社長）は、5月から東京で、住宅会社に向けてカンザイシロアリ対策のセミナーを開く予定だ。荒川さんは、「カンザイシロアリはいつたん入り込むとやっ

かいだ。今後は、少なくとも主要構造部全体に防蟻処理をすべきではないか」と訴える。

一方、関東白蟻防除の南山さんは、「カンザイシロアリ.com」というホームページを開設した。エンドユーザーにも分かりやすく対策を呼びかけるのが目的だ。今後は、長期優良住宅認定制度に沿った形で住宅の定期診断を実施するサービスも検討している。

「無料で建物の定期診断や家歴書づくりを行い、シロアリによる食害が見つかったら対策工事を提案させてもらえるようになりたい」（南山さん）

「ストック時代」を迎え、住宅会社としてもこれまでとは別次元の防蟻対策を図る必要が出てきたようだ。（池谷和浩「フリーライター」）